

一般財団法人 全国高等学校PTA連合会 定時総会
(祝辞) 公益社団法人 日本PTA全国協議会 会長 佐藤秀行

期日 令和元年6月22日(土)

会場 東京ガーデンバレスホテル

こんにちは。私たち公益財団法人日本PTA全国協議会は、公立小中学校の全国組織となっております。私も長男が茨城県の県立高校におりますので高P連の会員でもあります。今、小中学校のPTAでは加入問題とか様々な問題があり、保護者のいろいろな意見がネット上に出ている状態です。昨日、総会が終わった後に、会員の皆さんといろいろと話をしました。これからPTAは任意加入となっていきますが、しっかりと皆さんと協議しながら、どういう形で会員に申し込んでもらうのか、積極的に進めていこうと今、役員で話している最中です。なかなかうまくいかないPTAもありますし、PTAをずっとやっていると子どもたちのためになったとか、先生方と仲良くなれたとか、やってよかったと言っただけのOBの方が大変多くいます。そういう話を入会される小学校1年生の保護者の方にもしっかりと伝えるとともに、PTAの意義を私たちも再認識する時代がきたことを感じています。また、日本PTA全国協議会も存在意義自体をもう一回改めて考え、当然、文部科学省や関係省庁との連携も取りながら、一人ひとりのPTA会員の皆様にどういったことができるのかということテーマにして、一年間やっていきたいという話を昨日してまいりました。また、学校においては先生方の働き方改革の問題もありますし、様々な子供の安心安全についても大変な時代に今突入したという実感があります。もう一つはいじめの問題についても19歳以下の自殺者数が600人と変わらず、若い命がなくなっていく大変な問題です。これもPTAで取り組むべき課題の一つではないかと考えています。文部科学省でとり行われています「いじめ問題対策協議会」に参加しておりますが、ますます積極的な参加と我々PTAの力を合わせて、子どもたちの命を守っていきたいと感じております。まだ、私も会長になったばかりで、わからないことかたくさんありますけれども、先輩たちからのご指導ご鞭撻をいただきながら、PTAの活動を進めてまいりたいと思います。今後ともよろしく願います。